

2024年春渡航





語学勉強に対するモチベーションが上がりました！

システム理工学部 環境システム学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI2週間

2週間という短いプログラムでしたが、英語を身近に感じながら楽しく語学学習に取り組むことができました。滞在期間中は午前中に3時間授業を行いました。授業は拙い英語でもとにかくしゃべってみようといったスピーキング能力を養うことを目的とした内容でした。テーマに沿って簡単な会話や、ディスカッションをし、英語でわかりやすく伝えることに努めました。ユーモアあふれる先生方のおかげで毎日楽しく授業を受けることができました。午後はUCIの学生と交流する時間があり、一緒に学校巡りをしたり、お昼を食べたりしました。アメリカの文化や学校のこと、将来のことについて話していました。また、日本とハーフの学生とも知り合うこともできました。英語での会話が詰まるとサポートしてくれてとても助かりました。話を聞いているとアメリカの学生の多忙さを知り、自分ももっと努力しなければいけないと考えさせられました。放課後はビーチやハリウッド、NBAを見にいき、週末にはディズニーランドに行きました。2週間では全く足りませんでした。アメリカならではの経験をできたと思っています。

今回のプログラムを通して、他学年の、他学部の、他学科の友人をつくることができました。交友関係をつくりたいといった方にもおすすめかと思います。そして、今回プログラムに参加して、自分の語学力がどの程度なのか知ることができたと同時に、コミュニケーションがうまく取れなかったことなどから、語学学習に対する意識が変わりました。今回の経験をこれからの学生生活に活かしていきたいです。



この語学研修を通じて、語学的な技能の向上だけでなく、現地の人々の生活習慣や物事に対する考え方も知ることができた。

工学部 応用化学科 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI2週間

何かしらの語学研修プログラムには参加したいと思ってはいましたが、どのプログラムも非常に魅力があり、迷っていました。自分は、語学的な技能を身に着けるだけではなく、現地の人々がどのような生活を送っているのか、どのような価値観を持っているのか、日本での生活との違いは何なのかといったことも知りたいと思っていました。そこで、「ホームステイ」という形をとっているこのプログラムを選びました。ホームステイをすればホストファミリーと会話する機会も増えて英語を使う機会が増えるだろうと考えました。また、アーバインという町は非常に治安が良く、犯罪に巻き込まれてしまうのではないかとといった不安を少しでも減らしたいと思ったことも、このプログラムを選んだ大きな理由の一つです。

プログラム中は午前2コマの授業があり、午後は現地の学生とアクティビティを行う、もしくは完全にフリーといった形でした。午前の授業では、簡単な英語の会話やディスカッションを行いました。同じプログラム内の学生との英会話、アメリカの文化を学ぶ講義がありました。現地の学生とのアクティビティでは、ピクニックをしたり、一緒にお昼を食べたり、ビーチに行くといったことをしました。初めは英会話で間違いをすることにとっても抵抗がありましたが、先生方や生徒は非常にフレンドリーでとても話しやすかったです。週末には現地の学生のガイドと共にディズニーランドへ行きました。午後10時という非常に遅い時間までディズニーで遊び尽くしました。

今回の語学研修では、自分の英語がどれくらい通じるのかを実際に会話することで知りたいという思いもあって参加しましたが、実際にはあまり通じず、ホストファミリーとのコミュニケーションでも何度か苦労しました。しかし英語の環境に身を置いて生活して、少しだけですがコミュニケーションをとれるようになりました。また、現地での生活を体験したことも非常に有意義だったと思います。英語の技能はまだですが、英語での会話に抵抗がなくなり自信をもって話せるようになりました。



ネイティブスピーカーとの交流がたくさんあったので、楽しく英語をまなぶことができました！

システム理工学部 環境システム学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI2週間

私は三年生の秋にポーランドに交換留学をする予定です。それに向けて英語力をしっかりとあげていかなければいけないと思い、今回の語学留学に申し込みをしました。いわゆるネイティブスピーカーがいる国を訪問することは私にとって初めてで、またホームステイをすることも初めての経験でした。そのため、英語をしっかりと話せるのか、理解することができるのかと不安なことが多くあり出国前にもかかわらず緊張の気持ちでいっぱいでしたが実際のところ現地の人やUCIの学生、先生たちがとてもやさしく接してくれたことで楽しくアメリカ生活を楽しむことができました。ホームステイ先のホストファミリーもまるで本当の家族のように接してくれたのでホームシックにならずに過ごすことができました。

UCIの授業はスピーキングとリスニングが中心に行われました。一限目は教科書を使った授業、二限目はアメリカのカルチャーを題材とした授業でした。どちらの授業も生徒に発言させることを重視している感じがして、日本で受ける授業よりも積極性が求められるなと思いました。12時に授業が終わりそのあとは自由時間か、CPと呼ばれるUCIの学生パートナーと交流する時間がありました。自由時間にはハリウッドに行ったりアウトレットで買い物をしたりと毎日楽しく過ごしました。CPとの交流はカードゲームをしたりピクニックをしたりUCIのキャンパスを巡ったりと様々なことをしました。CPとの交流では英語をうまく使おう、伝わらなかつたらどうしようという気持ちをあまり持たず、フランクに接することができたので、英語で話すことの楽しさを実感できました。私はCPの子ととても仲良くなり、日本に帰った後でも一緒にゲームをしようという約束をするくらい親密になることができました。なので、これから行く皆さんも言語の壁に阻まれず、コミュニケーションを積極的にとることで外国の友達を作ることができると思うので、ぜひこのプログラムに参加し英語で話すことの楽しさを感じてみてください。



短期留学を通して 英語力と行動力が向上する

建築学部 建築学科 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI2週間

英語を話せるようになりたいと思いつつも、日々日本でいると使う機会や時間がなかったため、実際使ってみようと思い今回ホームステイ型の短期留学できるアメリカのUCIを選んだ。

はじめに私は、語学研修に行き得るものも多く、充実した生活をする事ができた。異国での初めてのホームステイや英語による授業と不安な要素がたくさんあった中今回の語学研修をより充実させることを手伝ってくれたものは“バスケットボール”だった。私は、語学力に自信がなかったため、スポーツでコミュニケーションがとれたらいいなと軽い気持ちでしおりには書いてなかったが、家にあったバスケットボールを持ってアメリカに行った。結果的にこれが大当たりだった。留学生用のクラスルームの前にバスケットコートがあり、毎日のようにそこでバスケットをすることができた。ホームステイ先からのバス通学で大学に通うのだが、そのバス自体が一時間に一本くらいしかでていない通学路だった。朝の授業に間に合うためには授業開始時間の40分前にはついてしまうことがわかったので暇つぶしのために朝の運動がてら毎朝バスケットをしていた。最初はひとりだったが、同じように早くついた芝浦の人たちとバスケットをするようになり、それが2週間の日課となった。また、実際のUCIでの一日は、午前中は3時間ほど英語での授業を行い、そのあとの午後は毎日フリーだった。そのため、午後大学でバスケットをしていると現地の大学生がやってきて一緒にバスケットをして交友関係を深めることができた。大学側が留学生用にプログラムしたアクティビティに参加することができたそれも十分楽しかったのだが、あくまで留学生用なので留学生としか交流がとれなかった。バスケットをすることで現地の学生と仲良くなり、2週間の海外研修がより充実したものとなった。

今回の海外研修で他学年、他学科の芝浦生と仲良くなるだけでなく、他大学の学生と仲良くなったり、ホストファミリーと過ごし現地の生活を体験でき、多角的な視野を得られるきっかけとなった。この経験をもとにまた留学をしたいと考えている。